
コロナ禍における婚姻・出生

2022年3月1日

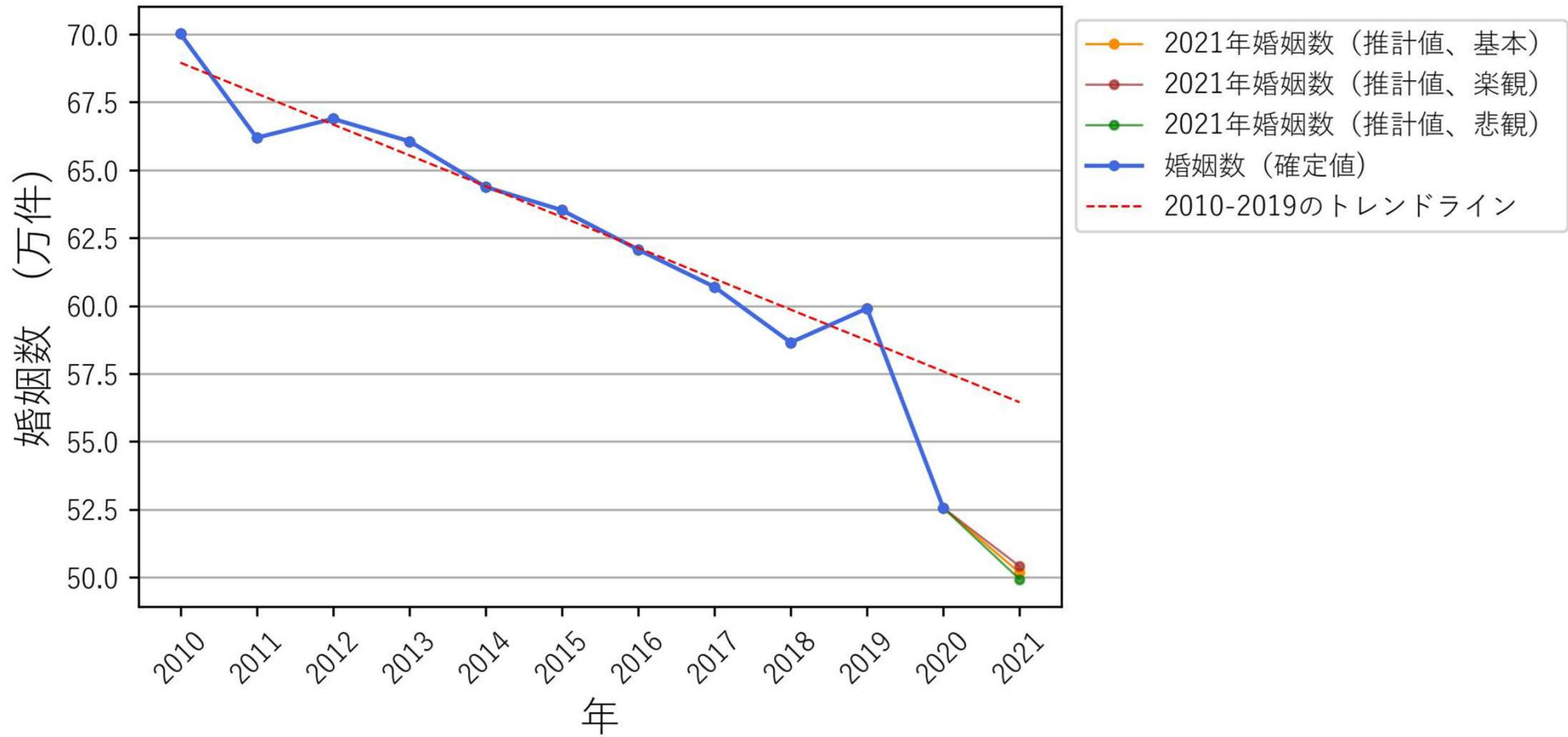
千葉安佐子（東京財団）
仲田泰祐（東京大学）

背景・分析

- コロナ危機は日本社会に様々な影響を与えている
 - 医療・経済・教育・文化
- この資料では、コロナ危機が婚姻数・出生数にどのような影響を与えたかを調査
 - 『コロナ禍における婚姻』及び『コロナ禍における出生』（千葉・仲田、2022年2月8日）を更新
 - https://covid19outputjapan.github.io/JP/files/ChibaNakata_Marriage_20220208.pdf
 - https://covid19outputjapan.github.io/JP/files/ChibaNakata_Birth_20220208.pdf
 - コロナ禍での推移
 - 2020年までの人口動態統計（確定値）
 - 2021年1月から9月までの人口動態統計（概数値）
 - 2021年10月から12月までの人口動態統計（速報値）

コロナ禍の婚姻

婚姻数、2010 - 2021



重要ポイント（婚姻）

- コロナ禍においては、トレンドを大きく下回る婚姻数
 - 2020年の婚姻数（確定値）は52.6万件（2010年からのトレンドラインを5.0万件（8.7%）下回る）
 - 2021年の婚姻数（推計値）は50.2件（49.9万、50.4万）（2010年からのトレンドラインを6.2万件（11.1%）下回る）
 - 2/8の推計：50.4万件（50.0万、50.7万）（2010年からのトレンドラインを6.1万件（10.8%）下回る）
 - コロナ禍で失われた婚姻数（推計値）：11.3万件（11.1万件, 11.6万件）

前回推計との差分（婚姻）

12月の推定値

前回：avg: 4.2万件（max: 4.3万件、min: 4.0万件）

今回：avg: 4.0万件（max: 4.0万件、min: 3.9万件）

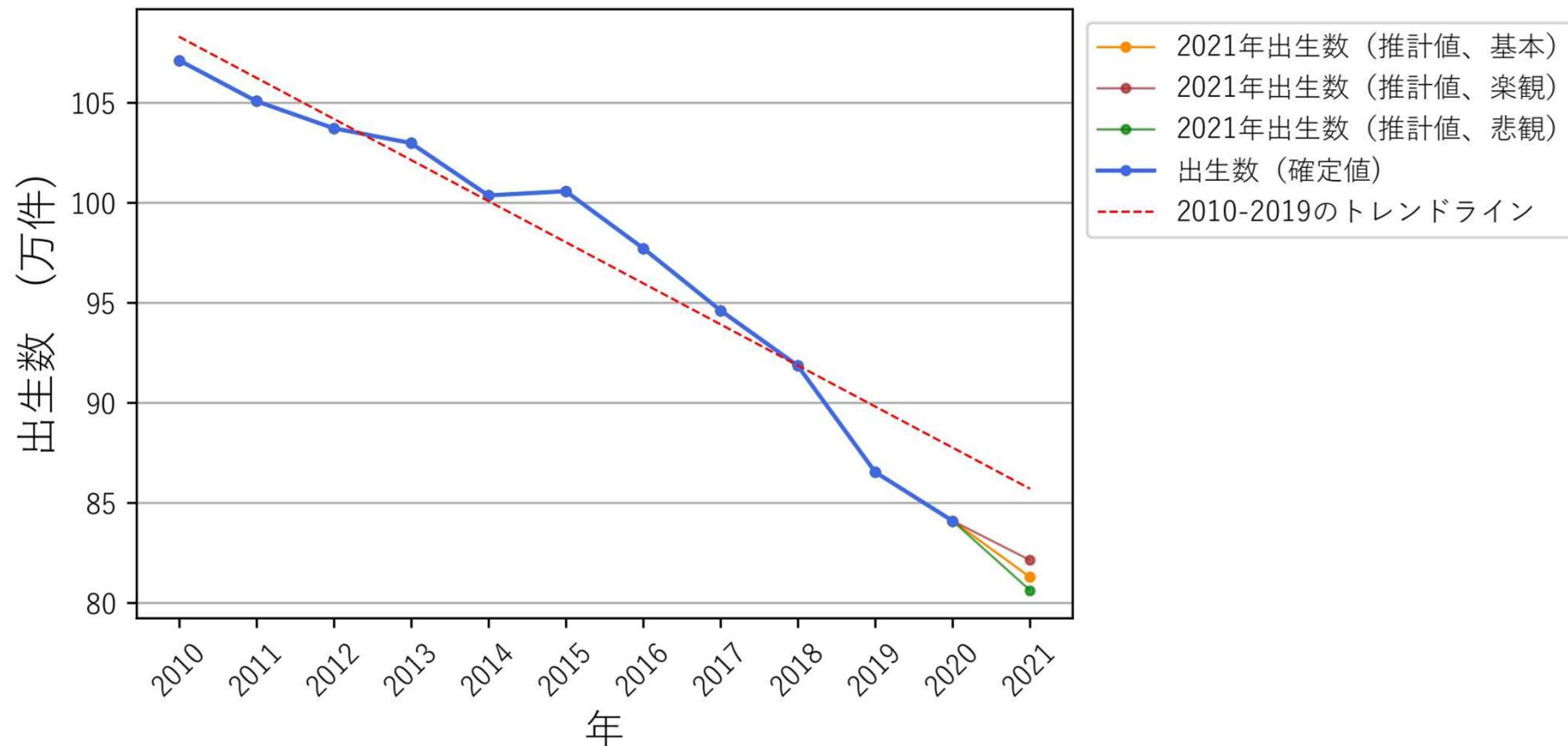
2021年の推定値

前回：avg: 50.4万件（max: 50.7万件、min: 50.0万件）

今回：avg: 50.2万件（max: 50.4万件、min: 49.9万件）

コロナ禍の出生

出生数、2010 - 2021



人口動態統計

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00450011&tstat=000001028897>

重要ポイント（出生）

- 2021年の出生数（確定値ベースの推計値）は約81万人程度となる可能性
 - トレンドを約4.4万人（5.2%）下回る（2/8時点での推計：トレンドを約5万人（5.7%）下回る）
 - 2019年、2020年もトレンドを3-4万人下回っていたため、「コロナ危機の影響」は今のところ限定的と言える
- 中長期的には、コロナ禍における婚姻数の減少が出生数の減少につながる可能性
 - 今後、この2年間の婚姻数減少を埋め合わせるだけの上昇がなければ。
 - 「コロナ禍で失われた婚姻」は約11万件。埋め合わせが無ければ「失われた出生」は約21万人

前回推計との差分（出生）

12月の推定値

前回：avg: 6.3万人（max: 6.7万人、min: 5.9万人）

今回：avg: 6.7万人（max: 6.7万人、min: 6.6万人）

2021年の推定値

前回：avg: 80.8万人（max: 82.0万人、min: 79.9万人）

今回：avg: 81.3万人（max: 82.1万人、min: 80.6万人）